

- ・ これまでにGAP認証を取得した先輩農業高校から、お役立ちアドバイスをいただきました！
 - ・ これからGAP認証取得を検討されている皆様、どうしようかとお悩み中の皆様、ご参照ください。
- ※各学校における個別の経験を踏まえたアドバイスですので、必ずしも全ての高校に当てはまるものではありません。

	役に立った情報・資料	気をつけるべきポイント
先輩アドバイス① 【JGAP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ JGAP指導員（NPO法人農業支援センター）の方からいただいた帳簿等のサンプル ・ 農林水産省米の作付制限等の対象地域(放射能汚染の確認)等のホームページのデータ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JGAP指導員から 4回程度の指導と模擬審査を実施して、本審査に臨むというパターンが一般的のようです。リスク管理一覧表等の帳簿類や掲示物の作成は指導を受けながら進めました。 ・ 残留農薬の検査は実施計画を文書化していれば、維持審査までに実施で良いようです。
先輩アドバイス② 【JGAP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ JGAP指導員研修や地域で開催された県GAP研修での情報が役に立った。特に、現地での研修は理解を深めるのに大変有効であった。 ・ 本校JGAP認証取得にあたりご指導いただいた指導員の方（自身もGAP認証を取得している地域の農業者の方）の助言が大変参考になった。 ・ 県GAPの帳票サンプルを参考にした。 ・ 「アグリノート」という営農記録アプリを活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組当初は施設、設備等の全面的な改修が必要かと思われたが、結果的には運用面で十分対応することができた。 ・ 帳票類は関係機関等と共用できれば、資料作成にかかる時間を大幅に短縮することができた。 ・ 依頼した認証機関が混んでいたため、実地審査、認証が遅れてしまった。認証に向けた準備と審査申し込みを並行して行えばよかった。

「アグリノート」 <http://www.agri-note.jp/>
 「アグリノート」は、ウォーターセル(株)が提供する農作業の記録をデータとして保存・活用できる営農支援システムです。正式なサービスの利用は有料ですが、最大2ヶ月間無料でお試しができます。

生徒の就農意欲の喚起に向けて、農業者の方に学校に来てもらいGAPに関する出前授業を行っていただく場合や、生徒とともにGAP認証取得農家へ訪問する場合に要する経費（謝金、旅費、貸切バス代等）は、農水省事業「若者の就農意欲を喚起する取組」（補助率1/2）が活用できます！詳細はお問い合わせください（03-6744-2160：農水省就農・女性課 三浦・大澤）

	役に立った情報・資料	気をつけるべきポイント
<p>先輩アドバイス③ 【JGAP】</p>	<p>①帳票作りが大変だが、日本GAP協会公認 JGAP指導員研修共通の「別冊テキスト」があったおかげで、それを参考に作ることができた。また、それをもとに農場や施設を整理・整頓した。これは県中央農業改良普及センターの方からペーパーとデータでいただくことができ助かった。</p> <p>②日本GAP協会のHPより基準書「管理点と適合基準」をダウンロードできた。（この項目を審査される）この基準書をクリアするには何が足りないか、また何が足りているか見極めることができた。また、この項目を審査されるので、生徒はその答え方を事前に特訓することができた。</p> <p>③GAP先進校（青森県立五所川原農林高校）を視察し実際の審査を観ることができ大変参考になった。</p>	<p>①まず、「GAP」は実施するもの、「GAP認証」は取得するもの ということを理解する。</p> <p>②基準点「管理点と適合基準」の解釈方法はいくつかあり、素人では理解できない内容もあるので、認証に向けてある程度準備ができたなら、コンサルタントを受け専門家の意見を聞くべき。本校ではコンサルタントを県中央農業改良普及センターの方に2回していただき助かった。</p> <p>③できれば模擬審査を実施し、生徒を本審査の雰囲気慣れさせておくが良い。</p> <p>④教育現場での認証取得は審査を公開で行ったほうが良い。多くの人に観てもらうことで達成感がより高まる。（県農林水産部、改良普及所、JA関係者、卒業生など）</p> <p>⑤生徒にはできることとできないことがあるので、そこは教員が責任を持って行えばよい。審査についてもなるべく生徒が前面にできるように心がけるが、生徒が答えられない事は教員が答えても良い。学校としてGAP認証をとるというスタンスが大切である。</p> <p>⑥一人の教員が全て行うのは大変で、チームを組み仕事を分担して行った方が良い。</p>
<p>先輩アドバイス④ 【GGAP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • GAP先進校（青森県立五所川原農林高校）から、評価書を紙データでいただき参考にした。 • 地域でGAP認証を取得している農業法人が独自に作成しているGAP管理システムを利用させていただいた。これにより、タブレット等で作業管理が可能になった。 • 掲示用ペーパーについては、イオンアグリ創造(株)から、GLOBAL G.A.P.マニュアルを提供いただき、それを参考に作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 農業高校は、もともと文書管理等がしっかりなされているので、GAP認証を取得するための素地はあると感じた。防災講習等も、もともと行っていたので、新たに実施する必要はなかった。 • 後継者を中心とした生徒のチームを中心にGAPに取り組んだ。リスク管理を理解し、はさみ1本にして、も大事に扱い、片付けも積極的に行うようになった。

多くのGAP先進校が審査を公開しています。また、農業教育機関が農水省のGAP認証取得支援を活用した場合、審査公開が要件となっています。この機会を有効に活用しましょう！

イオンアグリ創造(株)のGLOBAL G.A.P.マニュアルについては、以下リンクからお問い合わせください。
<http://www.aeon.jp/agricreate/side/index.html>